

北東北大学野球中止

春季リーグ、創設以来初

北東北大学野球連盟は30日、新型コロナウイルス感染症の影響で、1〜3部で行う春季リーグ戦の全日程を中止すると発表した。同日、八戸市内で開かれた緊急臨時理事会で決定した。

3度延期するなど開催を模索したが、1部の優勝校が出場する全日本大学野球選手権が中止となったことや、いまだ活動自粛中の加

は今後、開催可否や日程を協議する予定。8月22日開幕予定の秋季リーグ戦は、予定通り実施する方針。

プロ目指す八学大3選手 「秋、万全の状態です」

北東北大学野球の春季リーグ戦中止が正式に決まった30日、昨春の覇者八学大野球部の選手は、コロナ禍による中止について「仕方ない」と冷静に受け止めた。練習に励んだ。プロ入りを目指す4年の3選手は、次の舞台である秋季リーグ戦を見据えた。

田市出身、八学野西高出身の1部投手は、「リーグ戦がなくなったのは、正直に言うとショック」とこぼしつつ、目標とするプロ入りへ「アピールするには、秋が最後のチャンス。しっかり調整して万全の状態を迎えたい」と意気込んだ。

昨年の全日本選手権で2本塁打を放った主砲武岡大聖は「なくなったものは仕方ない」と冷静に受け止めて、「秋に向けてじっくりと打撃フォーム改善に取り組み、チームの優勝に貢献し、個人としてもアピールしたい」と前を向いた。

正村公弘監督は「状況が状況だけに、受け入れるしかない」ときっぱりと秋への向き「実戦をできない苦しさは耐えた分だけ、選手たちが強くなると期待したい」と力を込めた。(林泰輔)



フルベンで投球練習に励む、八学大の中道佑哉(左)と大道温貴(右)。八学大グラウンド